消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故事例
2. 体験した事例の名称	強風下における三連梯子点検中の転倒回避による負傷事故事例
3. 体験した事例の中心的要素	三連梯子の点検中、全伸梯時に強風に梯子が煽られ転倒しそうになったため、引き綱を保持していた1番員が、引き綱固定前に手を離し、傾いた梯子の保持のために支管部分に手を添えたところ、2連目及び3連目の梯体が落下し、1番員の指に当り負傷したもの。
4. 体験した事例の原因・理由	梯子の転倒を回避するために、1番員が伸梯した梯子の固定を行わずに 手を離したことが梯体の落下につながった。 また、安全員の配置を怠ったことも負傷の要因となった。

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成 17 年 12 月 22 日 午前 9 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外:消防署敷地内
4. 体験した事例の種類	
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場)	軽傷の怪我
合、仮に負傷したときの程度)	
6. どのようなことが起きたのか	切り・こすれ、
(起きそうになったのか)	
7. 事例体験時の活動	その他: []
8. (7の活動中)	その他:機械器具点検時
どのような作業中に発生したか	
9. 同様の体験は、これまでにどの	初めて体験した。
程度の頻度で体験していますか。	

10. ヒヤリハット体験当事者の属性(回答者は当事者A)

〇当事者 A	年齢[20]歳、 勤続年数[2]年、 現場経験年数[1]年、 階級[消防士]、
	同様の活動 [頻繁]、 任務 [隊員]
〇当事者B	年齢[30]歳、 勤続年数[10]年、 現場経験年数[10]年、 階級[消防副士長]、
	同様の活動 [頻繁]、 任務 [隊員]
〇当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、
	同様の活動[]、 任務[]
その他	
(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A及びB	三連梯子の点検をしようとした。	
	が		
経過2	当事者Aが	1番員として梯子の伸梯を行おうとした。	
経過3	当事者Bが	2番員として梯子の保持についた。	
経過4	当事者Aが	三連梯子を全伸梯した。	引き綱未結着
経過5	突然の強風が	ふいた	
経過6	当事者Bが	強風を受けた梯子を支えきれずに	
		梯子が倒れそうになった。	
経過7	当事者Aが	倒れそうになった梯子を支えるため	支管部分に両手の指が
		引き綱を離して梯子の保持にあたった。	入り込んだ状態
経過8	梯子の2連目及	落下して当事者Aの指に当たった。	
	び		
	3連目が		
経過9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合:事故が起きたのはどうしてだと思うか?

ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか?

危険情報を把握、予見できなかった。避難・退避がうまくいかなかった。指揮者が適切に指示しなかった。 他隊(員)との連携活動がうまくいかなかった。他隊(員)から適切な注意を受けられなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという"あせり"を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており"あせり"を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより"あせり"を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。

いいえ

・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ
. 経験・知識が不足していた。	-
・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ
. 心身の不調があった	
・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ
・装備・資機材自体に問題があった。 ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ いいえ
装備・資機材について . 資機材の故障・不具合があった。	
	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ
活動環境について . 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。 ・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
. 行動しにくい環境だった。	1 4 7 / 0
・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ
. 足場が悪かった。	
・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ
	'
指揮・管理について	
. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。	
. 過例は目がが付わればかって、過例は目がと子だらればが、ここで。	

	・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	はい
	・指示内容に誤り・偏りがあった。	はい
Ī	・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	はい
	88 医老眼点样 护尸法 《谢·刘·拉·长子上八·华 · 4	

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	はい

〇その他

I . その他の理由があった。

はい:活動状況が急変した。

【事故発生後の取り組みについて】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
O注意力欠如、焦り等の対策について
全署において、日常的な機械器具の点検時においても安全員の配置を行うようにした。
○装備・資機材の対策について
〇活動環境の対策について
〇指揮・情報伝達の対策について